

令和5年度 住まい環境整備モデル事業
【課題設定型・事業者提案型】
提案内容の概要

事業名称：地域・医療・教育の懸け橋になる
「障がい児童向け施設」の新設

代表提案者：一般社団法人 信州子育てみらいネット
代表理事 山岸裕始



1. これまでの取組

子育てしやすい未来をつくる

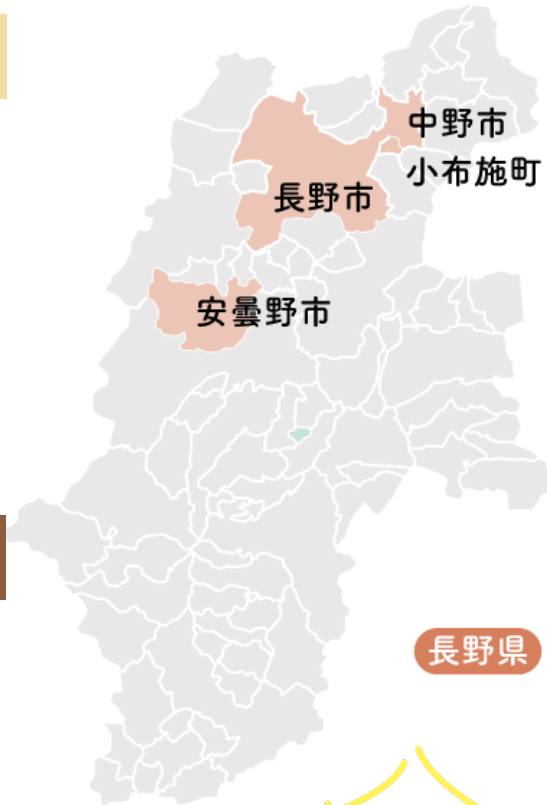
保育事業を中心に地域の子育てサポートを幅広く展開

保育事業 2015年～

小・中規模の保育所を長野県内で9園運営。
病児保育・夜間保育・医療的ケアが必要な児童の一時預かり等の実施。

子育てメディア

保育園の様子や子育てに役立つ情報を動画やWebマガジンで配信。子育て家庭に情報アクセスの機会を提供。



eラーニング 保育士等 キャリアアップ事業

保育現場における職員の資質向上を図るため、専門的な知識及び技術に関する研修を実施。

オンライン保育園

妊娠中から保育園・幼稚園入園前の親子を対象にした、専門家による子育て支援サービスを提供。

1. これまでの取組

地域の多様なアクターとの連携



女性の起業を
サポート！



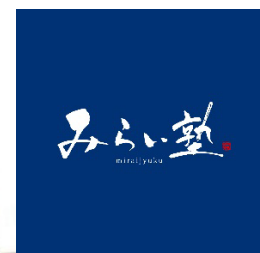
地域の生産者
・事業者・行政
との協働による
ブランディング

地域創造の推進



学生の
アイデア実現
の後押し！

若者の学びと
出会いの
場づくり



地域全体の活性化に寄与



共創・協働の充実

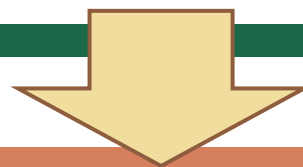
教育・文化の振興

2. 現状・問題意識

当法人が保育事業を実施する中で把握してきた
長野県北信圏域における発達障がいを持つ児童について

課題点

- 1 行政や福祉機関等の相談窓口の不足
- 2 既存の施設における保護者の負担（母子通所）
及び入浴設備等の不足
- 3 保護者間でのつながり不足や地域における孤立化



解決策

- 1 きめ細かい支援を行う相談機関と専門機能の集束
- 2 設備面や通所面で、保護者が利用しやすい環境整備
- 3 地域利用者と福祉利用者が交流できる場の創設

3. 提案内容

POINT 入浴設備等の設置で利便性が高い

児童発達支援
センター

小児専門
クリニック

地域拠点
地域交流スペース
遊技場・畑など

放課後等
デイサービス

POINT 非居室の空間でクーリングが可能

多様な社会的機能を持ち
地域とゆるやかにつながる
「まち」のような空間

保育園
身近な存在

連携

児童発達
支援センター
専門性を高める

児童の育ちを地域で支える複合施設

3. 提案内容

児童発達支援 センター

併設のクリニックや**保育園との密接な連携**により、障がい児への早期対応を可能とする。また、障がいの程度により、保育園利用との使い分けが柔軟にできる。

放課後等 デイサービス

近隣の小中学校との連携により、幅広い年代の児童の利用を促すとともに、保護者間の交流の幅が広がる。

小児専門 クリニック

小児科医を配置し、**医療的見地から児童の発達を支援**。適切な支援を行うことで障がい特性の緩和を目指す。また、地域住民の利用も可能とする。

地域拠点

福祉利用者との相互支援や交流の機会の創出が可能になる。また、**地域の拠点として活用されることにより、地域活性化を創出**する。

4. 期待される効果

～誰もが安心して暮らせる地域環境の整備を推進～

地域全体の
障がい者福祉の向上

障がい児と家族の支援を強化

地域住民との交流による相互理解の
推進

地域全体の
住環境の向上

クリニック 保育園 支援センター

地域交流スペース
(ラウンジ・コモンダイニングなど)

芝生公園 イベント・雇用の創出

ライフステージに応じた居住ニーズの変化に、
誰もが対応できる地域づくり



ソーシャル・インクルージョンの実現へ

5. 検証方法

1. 周辺地域の住環境への効果の検証

2. 対象属性の住環境への効果の検証

具体的な目標設定

▶ 交流イベント開催回数	年間12回以上
▶ 参加者数	1回あたり10人以上
▶ 参加者満足度	80%以上
▶ 利用者数	初年度で50人、3年後に100人以上
▶ 利用者満足度	80%以上
▶ 生活状況改善度	利用者の70%以上が自立支援や学業・就労状況の改善を実感